

SOAI

相愛ファミリア

相愛大学 www.soai.ac.jp
〒559-0033 大阪市住之江区南港中4丁目4-1
相愛中学校・相愛高等学校 www.soai.ed.jp
〒541-0053 大阪市中央区本町4丁目1-23

2016
No. 30

familiar



Daiwa House
Group

大和ハウス大阪ビル

信頼関係を築くことが大切

インタビュー・社会で活躍する卒業生

宮本絵理子さん

大和ハウス工業株式会社
相愛大学人文学部卒業生



大手住宅総合メーカー・大和ハウス工業(大阪市北区)入社2年目、大阪本店の建築事業部初の女性営業職として、期待の宮本絵理子さん。日々、汗を流し、靴底を減らし続けている。「モットーは元気なあいざつに笑顔。そして誠実さです」。そう明るく話す宮本さんに聞きました。

信頼関係を築くことが大切

社会で活躍する卒業生

宮本絵理子 さん

大和ハウス工業株式会社
建築事業部

2011年3月 相愛高等学校卒業
2015年3月 相愛大学人文学部日本文化学科卒業
2015年4月 大和ハウス工業株式会社入社

私という人間を知ってもらう

大阪本店の建築事業部では初めての営業レディー。周りはみな男性、戸惑いも多かったらしい。「入社後しばらくは猫をかぶっていました。どうしていいかわからない、ただ甘えていたんです。でも、すぐに脱ぎ捨てました。そんな甘い仕事ではありません」。

どんなプレッシャーが? 「いくら会社の看板を背負っていても新人ですから、お客さまは私に資産を預けていいかどうか不安ですよ。結局、私という人間を信用してもらうしかないんです」。そのためにどうしたんですか? 「まず社内の人に私を知ってもらおうと、自分から大きな声であいさつすることから始めました。とにかく経験がないので、わからないことは、先輩をつかまえて、とことん教えてもらいました。受身では知識も増えない。お客さまの信用も遠のきますから」。

日々勉強は欠かせません

春夏秋冬、1日のほとんどは外回り。担当エリアを歩き、古い建物を見つけると「建て替えませんか?」と飛び込む。金融機関や不動産業者の方から土地情報をつかんだら、すぐさま地主さんに「土地活用しませんか?」と会いに行く。「門前払いもありますよ。担当者が電話口に出てくれないこともあります。でもへこたれません」。彼女はたくましく成長している。「だって住宅などは展示場にお客さまに来てもらうこともあるでしょうが、法人建築の営業は、こちらが積極的に動いて提案しないと何も始まりませんから」。

もちろん、日々勉強は欠かせない。建築についてはもちろん、土地活用や国の制度まで幅広い知識を吸収するため、新聞や専門書などから情報を集め、マイ営業ノートに書き留めていつも持ち歩いている。「私、数字が苦手です。すぐに計算できるように数字を当てはめたら計算できる計算式などもメモしているんです」。

築いた信頼関係がやりがいに

失敗もたくさんしたらしい。それでもたくさんの人に出会える営業が好きだという宮本さん。「法人建築の営業は受注する金額が大きく、なかなか仕事をとれるものではありません。その中で、人間関係を構築し、信頼関係を築けたお客さまが増えてきたと実感できていることがやりがいにつながっています」。そして、女性であることに甘えず、でも男性には出来ないきめ細やかな仕事をして「宮本さんに任せておけば安心」と思ってもらえる営業のプロを目指しています。

学ぶ楽しさを味わった学生時代

もともと歴史と美術が好きで、相愛大学へ進みました。飛鳥時代を専門に研究している山本幸男教授に教わりたくて選んだのが日本文化学科。「好きなことをとことん学ぶ楽しさを味わいました。いつも一番前の席に座っていましたね」。学生時代は就職を見据え、積極的にインターンシップに参加したり、アルバイトで社会経験も積みました。ユニバーサルスタジオジャパン(USJ)でのアルバイト経験は今の仕事に生きているといいます。「接客している間、スタッフは黙っていてもダメだったんです。お客さま

に楽しんでもらえるように、おもてなしの気持ちで接客することを学びました。接客の心掛けやトーク力が身に付きました。また、歴史好きが高じて大阪城の石垣の発掘に参加したこともありました。その時に学んだ測量技術が建築現場で役立ち、何で知ってるの?とびっくりされたこともありました」。



先輩へメッセージ

好きでやっていたことが思いもよらないところで役立つことがあります。人生に無駄なことはないと思います。ですから、学生時代にはとにかく好きな事を納得いくまでやってみる。いろんなことに興味を持って、視野を広げてほしいですね。可能性を狭めないでほしいと願っています。

01
在学生
LIVE REPORT

人間発達学部
子ども発達学科4回生
岩井晴南さん

日々発見の4年間 夢を叶えて幼稚園教諭に

「採用通知、届きました!」。あふれんばかりの笑顔で話すのは岩井晴南さん(子ども発達学科4回生)。来春、夢をかなえ、幼稚園教諭として社会人の第一歩を踏み出すことになりました。いまの思いを聞きました。

幼稚園の先生になりたい

幼稚園教諭を目指したきっかけは幼いころのこんな体験から。「私、毎朝、幼稚園の玄関でただをこねてばかりなんです。母と離れるのが寂しくて。そんな泣きじゃくっている私を担任の先生がいつも『はるなちゃん』って呼びかけて、優しく迎えてくれました。とびきりの笑顔とぬくもりが忘れられなくて。いつか担任の先生みたいな幼稚園の先生になりたいって思っていました」。夢見るだけではなく、すぐピアノのレッスンに通いはじめたそうです。中学になってもその思いは少しもブレることな



く、保育コースのある高校を選び、大学で本格的に勉強するために相愛大学へ。「オープンキャンパスにきたとき、スタッフの学生さんの対応が温かく、学生生活や学びについて話してくれました。実習の回数も多く、実践力が身に付くんじゃないかと感じました。

失敗も含めてすべてが学び

大学では実際に現場へ出たとき、しっかり子どもたちと向き合えるコミュニケーション能力を高める努力を続けてきました。ただ、自信をなくしたこともあったらしい。「実習で保育をしていると、突然子どもが泣き出したんです。でも、その泣いた理由がまったくわからない。そんな状況でも保育は進めないといけないでしょ。おろおろするばかりで困りました。そんなとき、子どもと信頼関係がある先生が対応すると、何事もなかったかのように子どもに笑顔が戻りました。声のかけ方も違って驚きました。失敗も含めてすべてが学びでした。

もちろん、幼稚園教諭になることは長年の夢

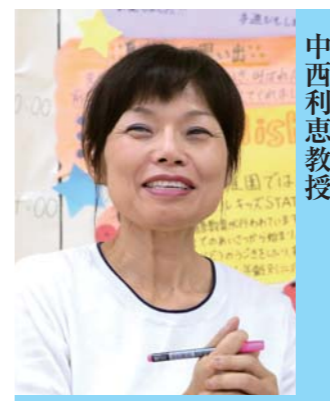
ですから、ちょっとやそつではへこたれないガッツがあります。4回生になった今でも子ども発達学科の有志団体「スパイスキッズ」の代表として活躍。大学祭では地域の子どもたちが楽しめるゲームを企画したり、親子で遊ぶイベント「相愛子どもわくわくあそび広場」の副統括を務めるなどリーダーの役割をどんどん担っています。「積極性が身に付いてきました。それこそ発見の日々です」と目を輝かせます。

4月から新米先生に

4月からはいよいよ新米先生としての奮闘の日々が待っています。「私が幼稚園のこに担任の先生に支えられ、幼稚園が大好きになったみたい、いつも笑顔で、子どもや保護者の方に信頼される先生になりたい。一人ひとりの子どもに寄り添って、子どもたちの成長につなげていけたらうれしいです」。卒研ゼミ担当の中西利恵教授は「岩井さんはコツコツ努力するタイプ。着実な仕事ぶりは信頼できます。現場でさらに成長して、子どもに慕われる先生になるでしょう」とエールを送ります。

保育士の未来

いま、日本中が注目する保育の問題。保育士を養成する大学教員はどう感じ、どう学生を育てているのか? 相愛大学人間発達学部子ども発達学科の3人の先生に聞きました。



中西利恵教授

いまほど保育の世界に関心が集まったことはありません。「子育て・保育」の意義を世の中に広く認識してもらうにはいい機会だと思っはいますが、待機児童や保育士不足など、保育の「質」ではなく表面的な「量」の問題ばかりにスポットが当たっているのは残念なことです。

乳幼児期は人格形成にとって最も大事なときです。そんな時期に子どもと長時間関わる保育者の役割は非常に重い。質の高い保育を行うためにはなんとといっても保育者の力量が求められます。ひとりでも多くの質の高い保育者を育てよう取り組んでいます。たとえば、子どもの自己肯定感をほぐもうと思えば、学生自身に自己を認められる経験が必要ですが、今の学生はそのような経験が乏しいです。体験を通じた実践力育成をめざし、大学の養成期間で豊かな経験が積めるように工夫しています。そして、卒業後も保育者として学び続けるという意識と体制をつくるのが大切です。そうしてこそ、日々の保育のなかで専門性を高め、保育の質を向上させていけるのです。



中井清津子教授

子ども・子育て支援新制度が2015年4月にスタートしたばかりで、幼稚園や保育園の現場は試行錯誤の段階です。子どもは遊びながら工夫する力や社会性を身につけたり、失敗することで忍耐力をつけたり、集中力や判断力を学んでいきます。さらには自信、好奇心、協調性など、いわゆる社会情動的なスキルを伸ばしていきます。現場の先生方は、そうした子どもの豊かな育ちを考えると悪戦苦闘しています。

たとえば、あいさつをしない子どもが、どうしたらあいさつしてくれるかを考えます。しばらくして、あいさつするようになると、子どもとつながったのが実感できるんです。一人ひとりの子どもをどう支援するかを考えてこそ、成果として得られるわけです。保育者はこんなささやかな子どもの成長に喜びを感じます。それを積み上げていくことで人間として成長していくプロセスが見えてくるんです。そこがやりがい。達成感を得ることで保育者自身も成長していきます。「子育て」って時間がかかるものです。行政や政治家にもっと保育の意義を理解してもらえたらうれしいですね。



直島正樹准教授

しきりに「保育士不足」が叫ばれていますが、なにも人手不足は保育業界に限ったことではありません。ただ保護者の働き方が多様になり、それに伴って、保育時間が早朝から深夜まで広がった。0歳児のニーズも増えてきて、これは法律上、子ども3人に1人の保育士が必要になりますから、保育士不足にならざるをえない状況になってきたんです。

相愛では幼稚園や保育園、施設に就職する学生が約85%。4年間、地域の幼稚園などと連携して実践を積んだうえで、「現場に出てからが本当の勉強だ」と送り出します。でも、現場で奮闘中の卒業生がよく学校へ戻ってきます。やはり悩みは多いんです。壁にぶつかっているときは学生と一緒に考え、自己解決できるようにアドバイスし、再び送り出します。

懸命に子どものことを考えている卒業生の姿を見ると私たち教員もやりがいを感じます。保育士はかけがえのない「人財」です。そういう目でじっくり学生を育てていかなければならないと誓っています。



相愛高校音楽科
大阪教区ご巡教 相愛コンサート

6月8日、北御堂(津村別院)において、本願寺第25代専如ご門主様の大阪教区ご巡教を記念し、相愛コンサートが催され、高校音楽科の1、2年生が出演しました。会場内は満席。いつも演奏するホールと違い、残響時間の長い本堂での演奏ということもあって、電子オルガンと合唱のバランスや弦楽器の音の響きがどうなるかなど、不安材料を抱えての本番でした。

いざ、本番になると少し緊張気味の高校生たちも集中力を増し、「衆会」「歌の翼に」の合唱から始まり、弦楽四重奏「アメリカ」、最後に音楽科全員で「風が吹いている」の合唱を披露。生徒たちは、いつもと違う会場の響き方を楽しみながら力強い演奏してくれました。ご門主様からも相愛生へお褒めの言葉が贈られ、生徒たちは嬉しそうな顔をみせていました。





相愛オーケストラ秋期特別演奏会を終えて

2016年度「相愛オーケストラ秋期特別演奏会」が和歌山県民文化会館大ホール(10月29日)、滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 大ホール(10月30日)にて行われました。

集中練習は2日間にわたり、相愛大学南港ホールにて、尾高忠明客員教授の指揮のもと行われました。学生たちは練習終了後、バスで和歌山に移動、翌日の公演に備えました。

和歌山公演には沙羅の木会(相愛大学音楽学部同窓会)会長をはじめ、和歌山支部の皆さんのご協力で演奏会準備が進められ、大学関係者、そして市民の方々など約1050名

が来場し、公演は大盛会のうちに終わりました。終演後、直ちに翌日の公演先に移動。夕食は大津インター内のレストランで済ませるなど、慌ただしい中で大津市内のホテルに到着しました。

限られた時間の中でびわ湖公演の準備も和歌山支部の方々の連日にわたる協力と、滋賀支部、京都支部の方々の尽力によって進められ、約750名の来場者を迎えることができました。

今回のびわ湖公演では、相愛大学の教授として多くの優秀なヴァイオリン奏者を育て、相愛オーケストラの礎を築いていただいた、小栗まち絵教授をソリストとして迎えることができ

ました。練習やリハーサル、そして本番を共にし、弦楽器専攻の学生たちは勿論、オーケストラのメンバー全員が多くのことを「音楽家 小栗まち絵」より学び得たことでしょう。



音楽を学び、歴史を味わう ヨーロッパの文化を満喫

シヨパン音楽大学夏期講習



1988年、相愛学園は創立100周年を迎えました。この記念すべき年に、相愛大学はポーランド国立シヨパン音楽院(現、シヨパン音楽大学)との間に現在の学術協定にあたる協力合意書を取り交わしました。その趣旨を現実のものとするために、1995年より毎年、夏期休業期間を利用し、音楽学部学生がシヨパン音楽大学に於いて当地の教授より厳しいレッスンや興味ある講義を受ける講習を開始しました。その講習では、実技の研鑽のみならず、古き良きヨーロッパの香りが残るワルシャワの風景に浸り、シヨパンが吸収していたヨーロッ



パ音楽の真髄を感じる毎日が送られています。今年も8月、7名の参加者(内4名は卒業生)と共に、6回のレッスンの他、シヨパン・コンクールが行われるフィルハーモニア・ホールでの演奏会や数千人の市民が集まる野外演奏会、美しいシヨパンの生家の見学など、19日間、実りある講習となりました。

課題演奏を充実させる 多彩なプログラム

全日本吹奏楽コンクール課題曲講習会



6月12日、相愛大学南港ホールにて「全日本吹奏楽コンクール課題曲講習会」が行われました。本学音楽学部主催によるもので、相愛ウインドオーケストラをモデルバンドに、本学管打楽器教員と、特別講師として招いた岡山学芸館高校吹奏楽部指揮者の中川重則教諭による、全日本吹奏楽コンクール

課題曲I~IVの楽曲解説、練習方法、曲の仕上げ方などの全体講習。中川先生による吹奏楽指導者対象の講演。木管・金管・打楽器に分かれて、本学教員の指導による「セッション別練習」を行うなど、多彩な内容で満足度の高いプログラムとなりました。当日は午前・午後の部あわせて関西圏の中学・高校から延べ約500名の吹奏楽部員・顧問の先生方が受講。課題曲を演奏する上で大いに役立てていただけたのではないのでしょうか。来年もより一層充実した内容を目指し取り組んでいきます。



橋爪さんが1位に輝く 第85回日本音楽コンクール

10月28日に開かれた第85回日本音楽コンクール本選会(毎日新聞社主催)のオーボエ部門で、卒業生の橋爪恵梨香さんが1位に輝きました。「これからもオーボエの美しい音色を追究したい」と喜びを語っています。

インド文化を体験 視野を広げるきっかけに——仏教思想論



『仏教思想論』と聞くと、なにやら難しい気がします。でも、井上陽准教授の授業はひと味もふた味も違います。本場インドのカレーを食べながら、ヒンドゥー教やカースト制度に至るまで、インド文化を体験できる時間が過ごせるのです。

それにしてもなぜカレーなのですか？井上准教授は言います。「カレーはただの食べ物じゃないんです。カレーにはインドの気候風土に適した思想、哲学が入っている。もちろん、仏教的な考えも溶け込んでいますよ。身近なカレーを通して異なった文化に触れ、視野を広げるきっかけになればうれしい。一皿のカレーから、これまで見えなかった世界が見えてくる、そんな喜びを学生たちに知ってほしいと授業に組み込みました」。

学生の反応も上々だ。受講した中国人留学生のゴウ・ギョウエンさん(3回生)は「日本のお坊さんは髪が長かったり、飲酒も結婚する人もいます。中国との違いに驚き、もっと仏教を知りたいと思って授業に参加しました。インドでは現在も結婚式当日に

初めて夫婦が顔を合わせる風習があると聞いて、びっくりし、さらにインド文化に興味を持ちました。インドへ行ってみたいと思っています」。塚本順成さん(3回生)は「私は実家がお寺なんです。授業をきっかけに、ひとつの宗教・宗派だけでなく、様々な宗教・宗派の教えや生活習慣を学ぶことも大切なと思うようになりました」と話してくれました。



アクティブに

世界の文化を 実体験！

人文学部は3回生になってから専攻を決める独自のカリキュラムを取り入れています。バラエティー豊かな実践的授業も多く、学生にとって貴重な学びの場です。益田圭・人文学部長はこう強調します。「人生は社会に出てからが勝負。学生時代に生きていく力を存分に身につけてほしい」。前期カリキュラムの中から、ユニークでアクティブな学びを紹介します。



て、異文化理解です。文化的背景が異なる人とのコミュニケーションは一筋縄ではいきません。そこを伝えるのが授業のポイントです」。

授業で使うのは英語のみ、単語を使ってゲームをしたり、グループディスカッションやディベートをするなど工夫を凝らしています。授業を受けた中国人留学生3回生のオウ・セイゲンさん、ショウ・ゲツさん、リ・シウさん、リュウ・チョウさんは、多様な文化を学びたくて日本留学を決めました。4人はこう声をそろえます。「授業はアクティブです。とにかく英語を声に出す。最初は恥ずかしかったんですが、楽しみながら鍛えられました。また、先生にアメリカ映画のDVDを貸してもらったり、先生との距離が近いのも英語力アップにつながりました」。授業での取り組みに満足しているようでした。

英語力を鍛え、 異文化理解を深める——異文化間コミュニケーション



『異文化間コミュニケーション』の狙いは、ずばり「使える英語力を鍛える」。英語で自分の気持ちを相手に伝え、相手の気持ちを動かし、グローバル社会に対応できるコミュニケーション力を養う実践本位の授業です。

どんな授業ですか？ 講師のヨハン・アルストルフさんはこう説明してくれました。「英語でのコミュニケーション能力は、話す・聞く・読む・書く力があれば達成されるものではありません。必要なのは伝えようという意思(マインド)と、伝えるための手段・方法(スキル・テクニック)。そし

あなたの中の 大阪人の イメージ革命

人文学部の学生が自らイベントを企画プロデュースする「大阪文化応援プロジェクト」。今年「あなたの中の大阪人のイメージ革命!」をテーマに、今春から第2弾がスタート。このプロジェクトは昨年、課外活動の一環として始めました。「天満天神繁昌亭」で落語の魅力を若者に伝える第1弾「若者による若者のためのくらくごこわい!?」では、イベントの構成や周辺商店街への挨拶、司会進行などすべてを学生が担当し、満員御礼のイベントになりました。

今回、学生同士が意見を交えるなかで浮かんだのが「大阪人のイメージってホンマなん?」。大阪のおばちゃん=ヒョウ柄? 大阪人は会話に



大阪文化応援プロジェクト
第2弾、始動!

オチがないと怒られる?など、大阪人をめぐる疑問をテーマにシンポジウムを開催することでした。

6月には、数名の学生が大阪大学の金水敏



教授を訪ねてゲスト出演を交渉。金水先生は特定の人物像を思い起こさせる言葉遣い「役割語」を提唱しています。大阪人といえばケチ、笑わせ上手など共通のイメージが社会で広く共有される言葉のこどです。

私たちが思う大阪人のイメージは正しいのか。2017年2月、金水先生をメインゲストに迎え、相愛大学本町学舎でシンポジウムを行う予定。新たな大阪人のイメージ発見に乞うご期待!

夏期英語研修inハワイ 異文化に触れて 学びや交流を深める



では、ハワイの快適な気候と美しい自然を満喫しつつ、ホストファミリーとの生活を通して実感した、自身の英語力への課題や、コミュニケーションを広げ異文化を受け入れていくことの楽しさなど報告してくれました。

2016年度相愛大学夏期英語研修が、ハワイのオアフ島にて実施されました。

学生たちは8月1日から約3週間、現地のご家庭にホームステイしながら、ハワイ大学マノア校での英語研修プログラムに参加。

帰国後に開かれた研修参加者による報告会

「災害支援を続ける会

(代表幹事・石崎博毅さん 大阪府堺市大圓寺)」が行う生活用品の提供活動に本学教職員・学生が参加しました。淡路介護老人福祉施設「ビハラー(理事長・野村康治さん 大阪市東淀川区)」に集められた食器類をすぐに使えるように水洗いし、世帯ごとにセットして梱包する作業は、約900セットにも及びました。学生たちからは、現地に行って力になりたい気持ちはあるけれど、大阪にいても確実に力になれることがあるという声が聞かれました。できる時に、できることを、できる限りの行動をするということを通し、被災された方々への想いをさらに強くしたようでした。

熊本地震災害ボランティア できることを 今、行動にうつす



公開講座

歴史・サブカルチャーから ひもとく日本文化



山本幸男教授「鑑真来日の歴史的意義」



高木学准教授「アニメキャラと現代社会」

人文学部では大阪市立生涯学習センターとの連携企画として、人文学部教員による公開講座「歴史・サブカルチャーからひもとく日本文化」を2回にわたり開催しました。

まず9月14日、山本幸男教授が「鑑真来日の歴史的意義」と題して、仏教における戒律などを伝えた鑑真が日本で受けた抵抗について語りました。9月24日には高木学准教授が「アニメキャラと現代社会」と題して、アニメキャラの人気パターンの社会背景について解説しました。両日ともに多くの来場者が新旧の日本文化を学ぼうと熱心に聞き入っていました。

人間発達学部
子ども発達学科

あそびの広場 よつばのクローバー

3年次開講科目『世代間交流演習』において実施している『よつばのクローバー』(地域の0~3歳の未就園子育て家庭との交流の場=あそびの広場)は、正課内で行っている子育て支援力育成のためのプログラムです。2008年度から実施してきました。この活動名は、1期生が『ここで、よつばのクローバーを見つけたときのようにハッピーになってほしい』という願いをこめて付けました。

活動のねらいは、①将来の保育者・親としての学生の発達:特にコミュニケーション力・子育て文化の継承力。②子どもの発達。③親としての発達。この3つの発達支援です。実践を通して、保育と子育てを支援するために必要な力を総合的に養い、交流を主体とした活動(事業)を適切に計画し、実施していくことのできる力を身に付けていきます。それらの活動の様子を紹介します。



おかあさんと学生と一緒に製作



学生と一緒にシール遊び

おはなし隊と好きな絵本を楽しむ



子ども発達学科×住之江区役所 協働プロジェクト

あいあい相愛おはなしのへや

「あいあい相愛おはなしのへや」は、相愛大学子ども発達学科×住之江区役所 協働プロジェクトとして、未就園児とその保護者を対象に、参加費無料でおおむね1回のペースで実施しています。

地域の子どもたちがおはなしや交流を楽しむことを通して、子どもだけでなく大人も感性を高め、本好き・おはなし好きな子どもに育ってほしいという趣旨です。参

加者には「あいあい」の通称で親まれています。毎回学生スタッフが「おはなし隊」として登場。学生たちにとって現場力を身につける良き学びの場となっています。



おはなし隊によるおはなし隊を楽しむ

研修会

子どもの育ちを考える

保育所・幼稚園・認定こども園・小学校の先生方が専門性を高める機会として、毎年夏に現職の先生を対象とした研修会を行っています。今年も8月9日、10日の二日間にわたって、現場で課題となっている「発達障害児への理解とかかわり」と保護者支援や幼児教育と小学校教育の接続等「学び合い・つながりあう連携」をテーマに掲げて開催しました。本学の教員による講義の後に実施したワークショップでは、参加した約70名の先生たちが主体的に学び合い、課題解決につながる質の高い研修会となりました。



今日からできる・だれでもできる
認知症予防シンポジウム

身近なことから
始めよう!



10月16日に、住之江区役所と共催し、「今日からできる・だれでもできる認知症予防」をテーマに、地域住民の方々400名の参加のもと、公開シンポジウムを開催しました。本学の藤本繁夫教授による基調講演「生活習慣からみた認知症—運動と食事で予防できること」に始まり、住之江区の取り組み、そして「食事」、「歯」、「運動」のことなど、各分野専門の先生方からの事例をもとに、身の回りのものを活用した認知症予防対策が紹介され、参加者たちは真剣に聞き入っていました。併せて、本学科学生による骨密度の測定や体験型食事診断、管理栄養士による栄養相談、認知症予防が期待できる栄養素を含むメニューの試食会も行いました。当日のアンケート結果では、80%を超える多くの方から「参考になった」との回答を得ることができ、身近な認知症について理解を深めてもらう有意義なシンポジウムとなりました。



理解深める
シンポジウム
で
きつかけ

人間発達学部
発達栄養学科

食と防災シンポジウム2016
「備えてまっか〜!まさかの時の食-V」



知らなかった!
見直さなきゃ!

9月の「防災月間」に、特に「食」の視点から自助(個人)、共助(地域、大学)、公助(行政等)の災害時における必要性の理解を深める機会として、大阪府、近畿農政局との共催による「食と防災シンポジウム2016」を開催しました。熊本地震等の災害支援チーム統括として活動された(公社)日本栄養士会常務理事の下浦佳之氏による「最近の災害時における避難所等の食環境について」の講演後、本学の坂本廣子客員教授などによるパネルディスカッション「食の視点で今、もう一度考えよう!自助・共助・公助」が行われ、参加者からは「日ごろから食料品などの備蓄を心がけな」という声が聞かれました。

展示コーナーでは、発達栄養学科が「若い仲間伝えたい!食と防災」としてブースを出展し、非常時・災害時の栄養補給等の重要性について啓発しました。



公開講座 ヘルシーダイエット教室

少しの知識で
大きな成果!

地域の方々を対象に発達栄養学科4年生と教員がダイエットサポートを始めて今年で10回目となる『ヘルシーダイエット教室』を開催しました。

食事と運動の両方からプログラムを組んでおり、楽しくダイエットに取り組めると毎年好評です。スタッフとして参加する学生たちは、受講生の栄養サポートを通して栄養学の専門性と実践力を身につけています。



作品を 船場文化を 知る材料に



相愛中学校・高等学校 校長
安井大悟

著作権継承者代表
山崎定樹

相愛出身の有名作家・山崎豊子さん(1924～2013年)の甥で、著作権継承者代表の山崎定樹さん、相愛中学・高校の安井大悟校長に「相愛と山崎豊子」について対談していただきました。

——山崎さんは1941(昭和16)年に旧制相愛女学校を卒業されていますね。

安井 戦前の相愛は大店(おおだな)のお嬢さん、大阪弁で「いとほん」の教育の場でした。学園創立75周年記念誌に「私たちの頃の相愛」と題した山崎さんの寄稿があります。こんなふうを書いておられます。〈厳しさの反面、一種の才能教育を強調する雰囲気学園の中にあつた。(略)当時、小説を読み耽ったり、文章を書くことが好きであつた私に、どれだけ自由でのびのびとした解放感を与えてくれたか測りし

れない。おかげで私は、ガリ勉にならず、心豊かな女学校生活を送ることが出来た〉

山崎 そうですね。おばさんは老舗昆布屋の「いとほん」として大事に育てられ、とにかく本を読むのが好きな文学少女だったようです。正義感も強かったみたいですよ。私の父はおおの兄にあたりますが、本を読むおばの邪魔をして、よく怒られていたそうです。残念ながら、子どものころのアルバムなどはすべて戦争で焼失したのですが、私は顔がよく似ているらしいですよ。——船場を舞台にした一連の初期作品は「大阪もの」と言われています。

山崎 「大阪もの」は作家としての原点ですね。のれんがものを言う船場のあきんどの中で育った人間でなければわからない言葉や風習、価値観がちりばめられています。本物の「船場文化」がそこにあります。この独特で複雑な環境こそ、後に開花する作家としての鋭い人間観察につながったんでしょう。

安井 ええ。山崎文学のなかでも「大阪もの」は風俗や人間模様が色濃く描写され、傑作ぞろいですからね。短編「船場狂い」には聖徳高女という学校が出てきます。たぶん母校・相愛がモデルだと思いますよ。

山崎 そうでしょうね。「暖簾」「花のれん」「ほんち」などの作品を中学・高校の生徒や大学生に研究材料としても使ってほしいと考えています。すでに消えてしまった船場商人らしい言葉や船場商家の家族制度などが作品にふんだんに登場しますから。それに「美々卯」「柴藤」などいまも残る老舗料理屋が実名で出てき

ますから、われら大阪の地にいるものは読んでいても臨場感が違います。若い人にとっても作品の世界に入りやすいでしょう。

安井 なるほど、いいご提案をいただきました。ちょうど学校はアクティブラーニングに取り組んでいるところですよ。「山崎豊子学」と名付けて、教員と生徒が豊子さんという一人の卒業生が残した作品の名場面や生涯の軌跡を追うことで近代史や文学を体験的に学ぶ——いい試みですね。船場という地、母校である相愛だからこそできることですよ。ぜひ実現させたいです。

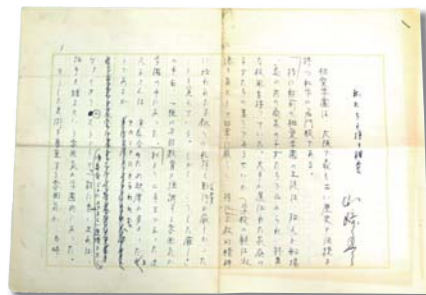
——早いもので、山崎さんが亡くなって3年が経ちました。

山崎 ええ。作家・山崎豊子にたくさんのファンがいることを実感した3年でした。多くの作品を後世に伝えることが私の役割だと肝に銘じています。これまで私の中で2つの顔がありました。ひとつは「華麗なる一族」の主人公・万俣大介にちなんだ愛犬「大介」を可愛がるおばちゃんの顔です。

もうひとつは、次から次へ猛烈に書き続ける執念の作家の顔です。なぜ、そこまでしんどい思いをして書くの? と尋ねたら、読者がいるから、と言っていました。何よりも書くことが好きでした。生きた証を残したかったのかも知れません。



相愛女学校時代の山崎豊子卒業アルバムより



学園創立75周年記念誌の奇構上
アルバムへの寄せ書き下

海外研修報告



今回、イギリス バンガー大学での研修では大学の先生に、フィールドトリップ先の歴史やウェールズ語も習うなど、様々な事を学びました。また、昼食はみんなで相談して決めて、毎日違う物を食べるなど、楽しい時間でした。午後のフィールドトリップでは、毎回違う場所を訪れて、クイズを解いたりしました。ホームステイ先では、その日の出来事や日本の事を話したりしました。休日に教会で色々な人と話したことも楽しい思い出です。出発前には想像もできないくらい楽しい経験ができ、日本に帰りたくないと思うほどでした。仲良くなれた人たちとお別れするのは寂しかったですが、後悔しないくらい楽しみ、勉強しました。充実した日々で自身の考え方や視野を広げることができた、そう実感できる2週間でした。

高校 演奏の奥深さ改めて 五嶋みどり相愛大学客員教授 集中レッスン



6月22日に五嶋みどり相愛大学客員教授による集中レッスンが行われました。今川こころさん(高3)が受講し、高校音楽科・中学音楽科進学コースの弦専攻の生徒が聴講しました。

作曲者がどういふ思いでこのメロディを作ったのか、どういふ思いでつけた記号なのか、演奏者としてどのように表現したいのか等、考えさせられることが多く、演奏の奥深さを感じたレッスンでした。



高校 11/6~11/9

初冬の日本から初夏のグアムへ。英語での交流や生活文化面(チップの支払い、フードコートでは荷物で席確保をしない)など日本との違いを肌で感じてくれたと思います。大きな事故・怪我もなく、集団行動の大切さを学びつつ異国の地を満喫した4日間でした。

修学旅行



6/8~6/10 中学

● ひめゆり学徒の体験談を聞き、平和の礎で千羽鶴を捧げ、実際にガマを訪れることで平和について深く考えることができました。

● マリン体験では「ひざまでの入水」として、ひめゆり学徒の体験談を聞き、平和の礎で千羽鶴を捧げ、実際にガマを訪れることで平和について深く考えることができました。

● にもかわからず、ほとんどの生徒が全身つかりこんでしまうというアクシデントも。平和や自然、そして沖縄の歴史や社会問題にも関心をもつことができたようです。



文化祭

● 昨年は再スタートという意味合いのWhiteがテーマでした。今年はそこにキラキラした色をつけようということで

● Twinkleに。どんな輝きか? 高3の一部クラスが調理した商品を販売。餃子、ポップコーン、おでんの出店ブースには長蛇の列が出来ました。他学年もクラス発表や中学コーラスコンクールなどで文化祭を盛り上げてくれました。また、育友会による模擬店とバザー、同窓会による歴史を振り返るスペースの提供など、多くの協力によって、大成功で終えることができました。

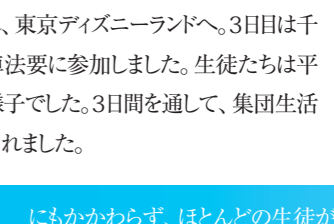
体育祭



● 中1『大玉転がし』、中2『ロープジャンプ』、中3『21人22脚』、高1『台風の目』、高2『棒引き』、高3『クラスダンス』と各学年種目は大いに盛り上がり、リレー種目ではクラスの団結力がぶつかり合って大興奮。保護者も大声援を送られていました。

● 中学生と高校生が同じ時間を共有し、相愛生皆で楽しむ姿を、保護者の方々に見せることが出来ました。

9月16日から18日までオータムスクールで東京方面へ。1日目はまず国会議事堂を訪れ、模擬国会を体験しました。その後東京タワーに立ち寄り、宿舎の築地本願寺に到着。一同大広間に就寝するという貴重な体験をしました。2日目は本願寺でのお坊さん体験を行った後、浅草、東京大学を見学し、東京ディズニーランドへ。3日目は千鳥ヶ淵戦没者御苑にて戦没者追悼法要に参加しました。生徒たちは平和の意味を真剣に感じ取っている様子でした。3日間を通して、集団生活にも慣れ、大きな成長を感じさせてくれました。





地域連携事業の推進をねらいとする 音楽鑑賞会

相愛大学では地域と連携した教育の展開、文化振興・地域の発展などに寄与することを目的として、全学的な地域連携事業の推進を積極的に展開しています。その一環として、「音楽鑑賞会」では、主に小・中学校の皆さんに本物の音楽を届けることで、生徒の感性豊かな心を育み、視野の拡大に尽力することを目的に継続的に実施しており、例年たくさんの喜びの声をいただいています。また、本事業では生徒・保護者・地域住民・教職員の皆さまに満足いただけるプログラムを、本学の学生が自ら考えることで、音楽家をめざす学生自身の能動的な学習にも期待しています。

学生アイデア満載! 相愛大学発達栄養学科&株式会社ニッタバイオラボによる レシピ創造プロジェクト



地域と連携しながら 社会貢献活動に取り組む



あいおいニッセイ同和損害保険株式会社主催
「未来へ奏でる音楽会」

「音楽が出来る喜びを感じながら日々練習しています」
8月17日、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社が主催する「未来へ奏でる音楽会」(於：ザ・フェニックスホール)への出演依頼を受け、小学2年生～高校3年生のメンバーによる「相愛ジュニアオーケストラ」、相愛大学音楽学部生による「声楽」、専攻科生による「クラリネットデュオ」が出演しました。
冒頭に紹介した言葉は、宮城県立多賀城高等学校 吹奏楽部の顧問の先生が曲間に述べられたもの。同校では2011年に起こった東日

本大震災で津波の被害にあい、演奏する場所や楽器も流されて、もう二度と音楽を奏でることはできないと感じていたそうです。本公演は被災地支援の一環で企画され、音楽による交流を通じて被災地に元気を与えたいとの願いが込められ開催されました。
アンコールでは出演者全員による「ラデツキー行進曲」が披露され、観客は音楽の持つ不思議な「チカラ」と、小学2年生から大学生の音楽を愛する純粋な「ココロ」に魅了されていました。



株式会社堂島スイーツとのコラボによる 「実は男が食べたい! スウィーツ」 3種を開発・販売!!

発達栄養学科の学生と株式会社ニッタバイオラボがコラボし、ゼラチン、アガーを使った「健康な食事」を開発しています。ゼラチンやアガーの機能性を活かして、高齢者の栄養・水分補給や嚥下障害対応食への展開、減塩や低エネルギー食の開発など幅広い分野で学生の柔軟なアイデアを取り入れたレシピを7月から来年3月まで計10回発表。レシピ公開に併せて、本学専門教員による介護職への展開や摂食・嚥下障害に関する「ちょっとためになる健康・栄養情報」も発信中です。

新レシピはニッタバイオラボホームページにて毎月公開中
2016.7月～2017.3月
<http://www.nitta-biolab.co.jp/st/r/2>



発達栄養学科3回生の男子学生4名が「株式会社堂島スイーツ」とのコラボで「実は男が食べたい! スウィーツ」3種を開発。今年5月のゴールデンウィークに大丸梅田店で期間限定で販売されました。開発には半年以上かけて、中身だけではなく、外見にもこだわりました。商品名も「小腹がすいた時のエネルギーチャージにおすすめ! よくばり僕のチョコスティック」や「宝石になったフルーツロール」、「雲になったぷりん君」と学生ならではのユニークなネーミングばかり。開発に関わった学生たちは「新商品を生み出す苦労が分かった」「アイデアはわいても作るには多くの制限があり勉強になった」との感想。商品開発の現場でなければ得られない、貴重な経験となりました。



音楽教室出身者による
サマーコンサート

今年もサマーコンサートが開催されました。プログラム前半は教室生によるコーラス。田末勝志先生指揮、小柳祥子先生の伴奏で『みすとの旅』より「星とたんぽぽ」「なしのしん」、「ぜんぶここに」より「きもち」「ぜんぶ」の4曲を披露しました。生徒たちは少し緊張気味の様子でしたが、田末先生のいつもの笑顔と指揮に導かれ堂々と歌うことができました。プログラム後半は、音楽教室出身の松川暉さんによる演奏。黒の衣装で登場した松川さんはサラサーテとクライスラーの名曲の数々を演奏してくれました。音楽教室を修了し、たくましく成長して、再び教室のステージに戻ってきてくれたことに感動を覚えました。

相愛大学附属音楽教室 2017年度 教室生募集

入室試験

A日程 3月19日(日)
願書受付 1月30日～3月10日

B日程 4月9日(日)
願書受付 1月30日～3月31日
募集対象=年齢2年前より大学受験生まで

・2017年度春期入室準備クラス開講中 **随時受付**
・相愛大学附属教室通信教育<楽典> **毎月受付**

お問合せ ☎06-6262-0662 <http://www.soai.jp/onkyo>
※詳しくは募集要項をご覧ください。

● 本学教員の近刊図書 ●

釈 徹宗

『歎異抄 信じる心はいつである (NHKテキスト 100分de名著)』
NHK出版 2016年3月発行
定価500円(税込)

『お世話され上手 (シリーズ22世紀を生きる)』
三ツ社 2016年11月発行
定価1700円(税込)

『ホップステップ浄土真宗 浄土真宗の「終活」』
本願寺出版社 2016年6月発行
定価1000円(税込) 森田真円 共著

『70歳! 人と社会の老いの作法』
文藝春秋 2016年8月発行
定価842円(税込) 五木寛之 共著

『僧侶が語る死の正体 死と向き合い、不死の門を開く、五つの法話』
サンガ 2016年9月発行
定価1944円(税込) ネルケ無方他 共著

『お世話され上手』
釈徹宗 著

『とまどう 男たち 死に方編』
大村英昭他 共著
大阪大学出版会 2016年7月発行
定価1600円(税込)

『聖地巡礼 Returns 長崎隠れキリシタンの里へ!』
内田樹 共著
東京書籍 2016年11月発行
定価1700円(税込)

荒井真理亜

『温泉文学事典 (和泉事典シリーズ32)』
浦西 和彦 編著
(荒井 真理亜 [他] 執筆)
和泉書院(2016年11月発行)
定価6,480円(税込)

『上方食道楽・食通 (復刻版) 全16巻』
荒井真理亜 [他] 解説
丸善雄松堂(2016年10月発行)
定価291,600円(税込)

コンクール入賞者

《音楽教室》	《高校》
<ul style="list-style-type: none"> ●第28回京都子供のためのヴァイオリンコンクール 第2部門B 銀賞 澁谷 由梨奈(小1) 第3部門B 金賞 岡村 有紗(小4) ●第4回いかるが音楽コンクール チャレンジコース 光るプリンセス賞 松岡 実咲綺(年中) チャレンジコース 華やかな輝き賞 吉富 鈴音(小2) ●第18回関西弦楽コンクール 優秀賞・審査員賞 岡村 有紗(小4) 審査員賞 首藤 主来(中2) 優秀賞 齊藤 里香(小2) ●第6回すいたティーンズクラシックフェスティバル さつき賞 生駒 玲佳(中3) 石川 未央(中3) 都呂須七歩(高1) ●第17回大阪国際音楽コンクール 弦楽器部門 第3位 首藤 主来(中2) 入選 静 珠緒(中1) ●第70回日本学生音楽コンクール ヴァイオリン部門 大阪大会地区本選 入選 首藤 主来(中2) ●第2回堺学生管楽器ソロコンクール 高校の部 金管部門 第2位 泉口 真生(高3) 	<ul style="list-style-type: none"> ●第26回日本クラシック音楽コンクール ピアノ部門 全国大会出場 ●第8回岐阜国際音楽祭コンクール 専門コース 弦楽器部門 高校の部 第1位・岐阜市民賞・ジャーナリスト賞 ●第70回全日本学生音楽コンクール バイオリン部門 高校の部 大阪大会第2位 全国大会入選 ●第17回大阪国際音楽コンクール 弦楽器部門 Age-H エスポワール賞 ●第26回日本クラシック音楽コンクール 弦楽器部門 全国大会入選 ●第25回日本クラシック音楽コンクール入賞者披露演奏会 出演 (高槻現代劇場大ホール) ●京都芸術祭主催 世界に翔く若き音楽家たち 出演 (京都府立府民ホールアルティ) ●いしかわミュージックアカデミー マスタークラス受講 ●第17回大阪国際音楽コンクール 弦楽器部門 Age-H ファイナル入選 ●第26回日本クラシック音楽コンクール 弦楽器部門 全国大会入選 ●第18回関西弦楽コンクール チェロ部門 優秀賞・審査員特別賞 ●第26回日本クラシック音楽コンクール 弦楽器部門 全国大会出場 ●第70回全日本学生音楽コンクール チェロ部門 高校の部 名古屋大会第2位 全国大会入選 ●第17回大阪国際音楽コンクール デュオ部門 第3位 ●第31回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール 声楽部門 全国大会入選・審査員賞 ●第26回日本クラシック音楽コンクール ピアノ部門 全国大会出場 ●第31回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール フルート部門 全国大会入選 ●第18回「万里の長城杯」国際音楽コンクール 管楽器部門 高校の部 第3位 ●ELECTONE FESTIVAL 2016 ソロ演奏部門 奈良地区ファイナル 金賞 ●Yamaha Electone Concours 2016 二次選考会出場 ●大東エレクトーングランプリ2016 高校・一般の部 グランプリ ●ELECTONE FESTIVAL 2016 ソロ演奏部門 大阪地区ファイナル 金賞 ●Yamaha Electone Concours 2016 二次選考会出場 ●第23回ヨハネス・ブラームス国際コンクール バイオリン部門 セミファイナリスト・審査員特別賞 ●京都芸術祭主催 世界に翔く若き音楽家たち 出演 (京都府立府民ホールアルティ) ●音楽の祭日 in あさひ 出演 (旭区民センター大ホール) ●ジョイントリサイタル 出演 (カワイ梅田コンサートサロンジュエ) ●2016サミットミュージックフェスティバル・イン・ニューヨーク ヴァイオリン部門 全国大会出場・フェスティバルコンサート出場 ●第26回日本クラシック音楽コンクール 弦楽器部門 全国大会出場
<ul style="list-style-type: none"> 廣岡 和佳(高1 ピアノ) 谷本 沙綾(高1 ヴァイオリン) 都呂須七歩(高1 ヴァイオリン) 松蔭 ひかり(高1 チェロ) 谷本 沙綾(高1 ヴァイオリン) 松蔭 ひかり(高1 チェロ) 三木 彩乃(高2 声楽) 小島 美久里(高2 ピアノ) 坂口 実穂(高2 フルート) 松田 明音(高3 電子オルガン) 水口 ひな(高3 電子オルガン) 今川 ころこ(高3 ヴァイオリン) 陳 汰熙(高3 ヴァイオリン) 	<ul style="list-style-type: none"> 松蔭 ひかり(高1 チェロ) 谷本 沙綾(高1 ヴァイオリン) 松蔭 ひかり(高1 チェロ) 小島 美久里(高2 ピアノ) 坂口 実穂(高2 フルート) 松田 明音(高3 電子オルガン) 水口 ひな(高3 電子オルガン) 今川 ころこ(高3 ヴァイオリン) 陳 汰熙(高3 ヴァイオリン) 松蔭 さとり(中1 ヴァイオリン) 小谷 華梨(中3 マリンバ)



音楽学部生・卒業生 受賞一覧

受賞者氏名	学年/専攻	コンクール名称等	受賞内容等
坂本 舞	1年生/ピアノ	●第17回大阪国際音楽コンクール ピアノ部門[Age-U]	入選
船迫 真衣	1年生/サクソフォン	●第17回大阪国際音楽コンクール 木管楽器部門[Age-U]	入選
永井 秀一朗	1年生/トロンボーン	●第2回堺学生管楽器ソロコンクール 大学・一般の部 金管部門	1位
松本 優輝	2年生/打楽器	●第68回福井県音楽コンクール マリンバ部門 大学・一般の部	文化協議会賞
小西 稔大	3年生/サクソフォン	●第2回堺学生管楽器ソロコンクール 大学・一般の部 木管部門	2位
川向 志保	4年生/打楽器	●2016年岐阜国際音楽祭コンクール 打楽器部門	
梅 千晶	4年生/声楽	●第17回大阪国際音楽コンクール 声楽部門オペラコース[Age-U]	入選
高松 寧々世	4年生/ヴァイオリン	●第17回大阪国際音楽コンクール 弦楽器部門[Age-U]	入選
油江 和弘	4年生/サクソフォン	●第17回大阪国際音楽コンクール 木管楽器部門[Age-U]	入選
新井 貴之	4年生/サクソフォン	●第17回大阪国際音楽コンクール アンサンブル部門	2位
黒田 美羽	4年生/声楽	●第45回堺市新人演奏会	聴衆賞
東口 雪菜	2016年卒業/ピアノ	●第10回神戸新人音楽賞コンクール	優秀賞
生田 英奈	2015年卒業/ピアノ	●第61回西日本国際音楽コンクール	合格
白石 尚美	2013年卒業/サクソフォン	●第17回大阪国際音楽コンクール 木管楽器部門[Age-G]	1位、兵庫県知事賞、音楽現代社賞、アルソ出版社賞
田本 華子	2010年卒業/ピアノ	●第17回大阪国際音楽コンクール 2台ピアノ部門	入選
古瀬 まきを	2006年卒業/声楽	●平成28年度尼崎市民芸術賞	奨励賞
岩本 亮	1995年卒業/声楽	●第17回大阪国際音楽コンクール 声楽部門歌曲コース[Age-G]	入選



学校法人 相愛学園
2015(平成27)年度 財務状況について

概要

資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表の計算書は、「学校法人会計基準」に定められた計算書であり、同会計基準による様式は補助金交付の観点からの表示区分となっているため、一般的に知られている企業会計の計算書とは異なる点も多くある。なお、平成27年度決算書については、平成25年4月22日付け改正に基づく学校法人会計基準により作成した。

(1) 資金収支計算書

この計算書は、当該年度の教育研究等の諸活動に係るすべての収支内容、ならびに支払資金(現金・預貯金)の収支の顛末を明らかにすることを目的としている。お金の動きをすべて網羅した計算書(いわゆる、キャッシュフロー)であるため、収入には前受金収入、奨学貸付金回収収入等が含まれ、支出では借入金等返済支出、資産運用支出等が含まれる。

① 収入の部

学生生徒等納付金収入の決算額は18億7,118千円、前年度比2,722千円の減少となった。手数料収入は入学検定料収入及び試験料収入等があり、19,724千円となった。寄付金収入は短期大学卒業生及び保護者会等からの一般寄付金で44,573千円となり、予想を上回った。

補助金収入は、私立大学等経常費補助金、私立大学等改革総合支援対象校に係る教育研究活性化設備整備事業補助金などの国庫補助金収入及び地方公共団体補助金収入の補助金収入が4億35,045千円となった。

資産売却収入は、ピアノ1台の下取りで168千円となった。

付随事業収入は、高等学校・中学校の制服販売等購買部関係の売上を補助活動収入として28,105千円計上した。また、大学附属音楽教室の収入を付随事業収入として21,018千円計上した。不動産賃貸等による収益事業収入として1億2,582千円計上し、教職免許状更新講習料394千円と合わせて1億52,100千円となった。

受取利息・配当金収入は、銀行等の預貯金利息で1,736千円となった。

雑収入は、その大部分を占める退職金財団交付金収入1億11,040千円となり、本町学舎の貸教室料とその他の雑収入

を合わせて1億51,092千円となった。

② 支出の部

人件費支出は退職金を除く人件費が16億42,218千円となり前年度比54,776千円の減少となった。なお、音楽教室の教職員の人件費を含めている。

教育研究経費は、6億53,743千円となり前年度比54,256千円の減となり、予算比も56,494千円の減少となった。管理経費も2億627千円となり前年度比46,084千円の増であるが、予算比は22,711千円の減少となった。

借入金等返済支出は、龍谷学事振興金庫への返済金27,000千円である。

施設関係・設備関係支出は、合わせて80,066千円となった。主な内容としては、南港学舎3号館1階・2階教室のアクティブ・ラーニング教室のための什器等の整備工事や設備関係の更新、改修工事等の実施経費である。

資産運用支出10,874千円は、各引当特定資産への繰入支出である。

その他の支出の大部分は、前年度末未払金の支出で1億94,260千円である。また、奨学貸付金として4,200千円、大学生7名への貸付を行った。

資金支出調整勘定では、期末の未払金となった退職金及び所定福利費等を含んでいる。

結果、前年度よりの繰越した資金が6億46,898千円、翌年度への繰越資金が6億28,232千円と18,666千円の減少となり、また、予算額6億15,104千円と比較すると13,127千円の節減ができた。

(2) 事業活動収支計算書

従来の消費収支計算書は学校法人会計基準の改正により、大幅な書式変更があり、事業活動収支計算書になった。事業活動収支計算書では「教育活動収支」「教育活動外収支」「特別収支」の三区分別経理が導入され、基本金組入額もいったん当年度の収支差額を出してから最後に差し引く形になった。

① 教育活動収支

学校の「本業」ともいうべき、教育・研究活動に関する収支である。収入では学生生徒等納付金や施設整備目的以外の寄付金、経常費等補助金などを計上している。支出では人件費や教育研究経費、管理経費などがここに計上している。

教育活動収入合計は25億61,453千

円、教育活動支出合計は29億72,187千円、結果、教育活動収支差額は4億10,734千円の支出増となった。

② 教育活動外収支

学校の教育活動を側面から支える、財務的な活動や収益事業活動に係る収支である。収入では受取利息・配当金や収益事業収入など、支出では借入金等利息などを計上している。

教育活動外収入合計は1億4,319千円、教育活動外支出合計は438千円、結果、教育活動外収支差額は1億3,881千円となり、教育活動収支差額と合わせた経常収支差額は3億6,853千円の支出増となった。

③ 特別収支

特別な要因によって発生した、学校法人の臨時的な収支であり、収入では資産売却差額(売却益が出た場合)や施設整備に関する寄付金・補助金、現物寄付金などが、支出では資産処分差額(売却損が出た場合)や災害損失などをここに計上する。

特別収入合計は11,780千円、特別支出合計は54,143千円となり特別収支差額は42,363千円の支出増となった。

これらの3つの収支を合計したものが「基本金組入前当年度収支差額」で3億49,216千円の支出超過となり、前年度5億48,343千円の支出超過額と比較して1億99,127千円改善された。また、予算額4億53,092千円と比較しても1億3,876千円節減できた。基本金組入額合計は78,917千円で基本金組入後の当年度収支差額は4億28,134千円となり、前年度繰越収支差額107億2,390千円の支出超過額と合わせて翌年度繰越収支差額は111億30,524千円の支出超過となった。

(3) 貸借対照表

この表は年度末の財政状態を表し、当年度末と前年度末の額の対比で変動を確認し、資産、負債、純資産(基本金、繰越収支差額)別に計上している。

資産の減少は、減価償却と資産の除却損、現預金等の減少によるものである。負債においては、借入金が長・短期合計で2億65,000千円である。

結果、翌年度繰越収支差額(累計額)は111億30,524千円の支出超過となった。

学校法人は収入超過での繰越収支差額を目的とするものではない。とはいえ、財務の安全性を図り、収支均衡のためにも資金の積上げが不可欠な状況にある。

平成27年度決算

(1) 資金収支計算書 平成27(2015)年4月1日～平成28(2016)年3月31日まで

				(単位:円)					
科目		予算額	決算額	差異	科目		予算額	決算額	差異
収入の部	学生生徒等納付金収入	1,870,415,000	1,871,118,250	△ 703,250	支出の部	人件費支出	1,729,079,000	1,765,011,260	△ 35,932,260
	手数料収入	22,205,000	19,723,720	2,481,280		教育研究経費支出	710,237,000	653,742,892	56,494,108
	寄付金収入	42,971,000	44,572,748	△ 1,601,748		管理経費支出	223,338,000	200,627,225	22,710,775
	補助金収入	428,500,000	435,045,158	△ 6,545,158		借入金等利息支出	438,000	438,000	0
	資産売却収入	168,000	167,500	500		借入金等返済支出	27,000,000	27,000,000	0
	付随事業・収益事業収入	155,378,000	152,099,914	3,278,086		施設関係支出	33,556,000	30,403,566	3,152,434
	受取利息・配当金収入	1,737,000	1,736,201	799		設備関係支出	35,091,000	49,662,367	△ 14,571,367
	雑収入	112,712,000	151,091,957	△ 38,379,957		資産運用支出	10,600,000	10,874,083	△ 274,083
	前受金収入	274,075,000	229,548,060	44,526,940		その他の支出	200,943,000	200,605,232	337,768
	その他収入	219,392,000	218,036,713	1,355,287		資金支出調整勘定	△ 150,493,000	△ 203,018,307	52,525,307
資金収入調整勘定	△ 339,558,000	△ 406,460,677	66,902,677	翌年度繰越支払資金	615,104,401	628,231,627	△ 13,127,226		
前年度繰越支払資金	646,898,401	646,898,401							
収入の部合計	3,434,893,401	3,363,577,945	71,315,456	支出の部合計	3,434,893,401	3,363,577,945	71,315,456		

(2) 事業活動収支計算書 平成27(2015)年4月1日～平成28(2016)年3月31日まで

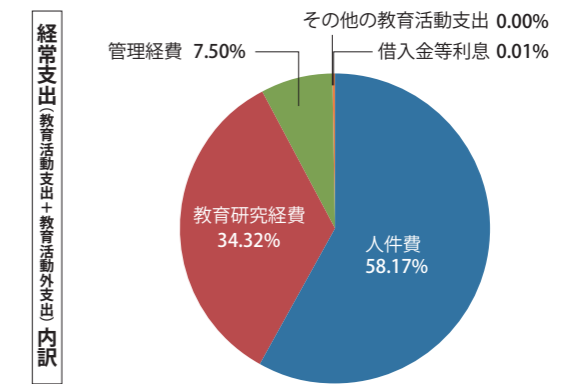
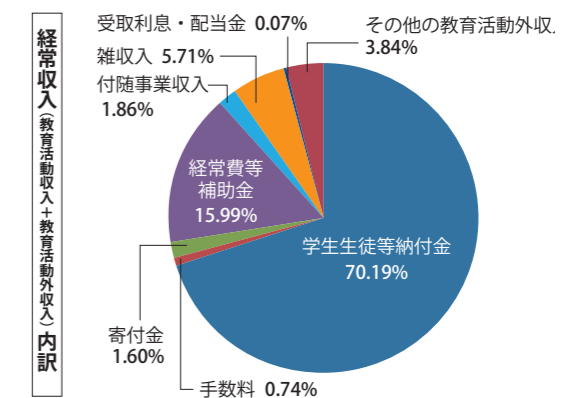
				(単位:円)					
科目		予算額	決算額	差異	科目		予算額	決算額	差異
事業活動収入の部	学生生徒等納付金	1,870,415,000	1,871,118,250	△ 703,250	事業活動支出の部	人件費	1,706,394,368	1,714,658,634	△ 8,264,266
	手数料	22,205,000	19,723,720	2,481,280		教育研究経費	1,072,588,000	1,011,630,451	60,957,549
	寄付金	41,171,000	42,772,748	△ 1,601,748		管理経費	244,218,000	221,166,316	23,051,684
	経常費等補助金	412,857,000	426,141,158	△ 13,284,158		徴収不能額等	11,773,000	24,731,207	△ 12,958,207
	付随事業収入	53,467,000	49,517,306	3,949,694		教育活動支出計	3,034,973,368	2,972,186,608	62,786,760
	雑収入	112,712,000	152,179,457	△ 39,467,457		教育活動収支差額	△ 522,146,368	△ 410,733,969	△ 111,412,399
	教育活動収入計	2,512,827,000	2,561,452,639	△ 48,625,639		受取利息・配当金	1,737,000	1,736,201	799
	事業活動収入の部合計	2,512,827,000	2,561,452,639	△ 48,625,639		その他の教育活動外収入	101,911,000	102,582,608	△ 671,608
	事業活動支出の部合計	3,034,973,368	2,972,186,608	62,786,760		教育活動外収入計	103,648,000	104,318,809	△ 670,809
	事業活動収支差額	△ 522,146,368	△ 410,733,969	△ 111,412,399		借入金等利息	438,000	438,000	0
特別収入の部				その他の教育活動外支出	0	0	0		
特別収入計	17,611,000	11,780,014	5,830,986	教育活動外支出計	438,000	438,000	0		
特別収支差額	△ 34,155,727	△ 42,363,085	8,207,358	教育活動外収支差額	103,210,000	103,880,809	△ 670,809		
基本金組入前当年度収支差額	△ 453,092,095	△ 349,216,245	△ 103,875,850	経常収支差額	△ 418,936,368	△ 306,853,160	△ 112,083,208		
基本金組入額合計	△ 117,580,118	△ 78,917,277	△ 38,662,841	事業活動収入の部	2,512,827,000	2,561,452,639	△ 48,625,639		
当年度収支差額	△ 570,672,213	△ 428,133,522	△ 142,538,691	事業活動支出の部	3,034,973,368	2,972,186,608	62,786,760		
前年度繰越収支差額	△ 10,702,389,997	△ 10,702,389,997	0	特別収入の部	17,611,000	11,780,014	5,830,986		
翌年度繰越収支差額	△ 11,273,062,210	△ 11,130,523,519	△ 142,538,691	事業活動収支差額	△ 34,155,727	△ 42,363,085	8,207,358		

(参考)			
事業活動収入計	2,634,086,000	2,677,551,462	△ 43,465,462
事業活動支出計	3,087,178,095	3,026,767,707	60,410,388

(3) 貸借対照表 平成28(2016)年3月31日

資産の部				負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減	科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	15,441,578,207	15,844,886,035	△ 403,307,828	固定負債	1,077,976,646	1,108,962,437	△ 30,985,791
有形固定資産	14,473,159,831	14,769,557,084	△ 296,397,253	長期借入金	238,000,000	265,000,000	△ 27,000,000
土地	6,579,213,600	6,579,213,600	0	退職給付引当金	831,398,854	829,984,753	1,414,101
建物	5,642,064,716	5,832,134,839	△ 190,070,123	その他の固定負債	8,577,792	13,977,684	△ 5,399,892
その他の有形固定資産	2,251,881,515	2,358,208,645	△ 106,327,130	流動負債	524,250,524	540,760,653	△ 16,510,129
特定資産	847,391,331	948,654,463	△ 101,263,132	短期借入金	27,000,000	27,000,000	0
その他の固定資産	121,027,045	126,674,488	△ 5,647,443	その他の流動負債	497,250,524	513,760,653	△ 16,510,129
流動資産	761,749,996	755,154,333	6,595,663	負債の部合計	1,602,227,170	1,649,723,090	△ 47,495,920
現金預金	628,231,627	646,898,401	△ 18,666,774	純資産の部			
その他の流動資産	133,518,369	108,255,932	25,262,437	基本金	25,731,624,552	25,652,707,275	78,917,277
				第1号基本金	25,152,624,552	25,073,707,275	78,917,277
				第3号基本金	200,000,000	200,000,000	0
				第4号基本金	379,000,000	379,000,000	0
				繰越収支差額	△ 11,130,523,519	△ 10,702,389,997	△ 428,133,522
				翌年度繰越収支差額	△ 11,130,523,519	△ 10,702,389,997	△ 428,133,522
				純資産の部合計	14,601,101,033	14,950,317,278	△ 349,216,245
資産の部合計	16,203,328,203	16,600,040,368	△ 396,712,165	負債及び純資産の部合計	16,203,328,203	16,600,040,368	△ 396,712,165

(参考) 事業活動収支計算書 構成割合





2017年度 入試日程

相愛大学入試日程					
学部	種別	出願受付期間 (音楽・人文・人間発達共、締切日消印有効・最終日は窓口受付可)	試験日	合否発表	
音楽	一般A入試	音楽学科 音楽マネジメント学科	2月1日(水)・2日(木) 2月1日(水)	2月10日(金)	
	一般編入学後期試験		2月1日(水)		
	音楽専攻科入試	— 沙羅の木会会員対象	2月1日(水)・2日(木) 2月1日(水)		
	社会人特別入試	音楽マネジメント学科	2月1日(水)		
	留学生一般	音楽学専攻・ 音楽マネジメント学科	1月17日(火)～1月24日(火)※	2月1日(水)	
	一般B入試	音楽マネジメント学科	2月13日(月)～2月20日(月)	2月28日(火)	3月4日(土)
		音楽学科	2月14日(火)～2月22日(水)	3月2日(木)	
	一般C入試	音楽マネジメント学科	3月10日(金)～3月17日(金)	3月23日(木)	3月25日(土)
音楽学科		3月14日(火)～3月22日(水)【必着】	3月24日(金)		
人文・人間発達	一般A入試			2月10日(金)	
	社会人特別入試	1月17日(火)～1月24日(火)			
	一般編入学後期試験		2月1日(水)		
	留学生一般A入試(人文)	1月17日(火)～1月24日(火)※			
	外国人留学生入試(発達)				
	センター試験利用A入試	1月17日(火)～1月31日(火)	本学独自の試験は実施しない		
	一般B入試			3月4日(土)	
	ファミリー後期入試(発達)	2月13日(月)～2月20日(月)	2月28日(火)		
	センター試験利用B入試		本学独自の試験は実施しない		
	一般C入試			3月25日(土)	
	センター試験利用C入試	3月10日(金)～3月17日(金)	3月23日(木) 本学独自の試験は実施しない		
	寺院特別推薦C入試				
寺院特別推薦編入後期入試(人文)					
留学生一般C入試(人文)	3月10日(金)～3月16日(木)※	3月23日(木)			
留学生一般C編入学試験(人文)					

※留学生入試(音・人・発)の出願受付は最終日必着

●お問い合わせ先 相愛大学 入試課 電話：06-6612-5905 F A X：06-6612-6090

相愛高等学校入試日程		
	1次入試	
普通科	受付	窓口受付(郵送可)
	出願期間	1月20日(金)～2月3日(金)
	試験日	2月10日(金)
音楽科	受付	窓口受付(郵送可)
	出願期間	1月20日(金)～2月3日(金)
	試験日	2月10日(金)、2月11日(土)

※受付時間 9:00～16:00(平日・土曜とも、日曜・祝日は休み)

●お問い合わせ先 高中事務室 電話：06-6262-0621 F A X：06-6262-0534

相愛中学校入試日程			
	A日程(午前入試・午後入試)	B日程	C日程
受付	窓口受付	窓口受付	窓口受付
出願期間	12月20日(火)～12月24日(土) 1月7日(土)～1月13日(金)	12月20日(火)～12月24日(土) 1月7日(土)～1月14日(土)	12月20日(火)～12月24日(土) 1月7日(土)～1月16日(月)
試験日	1月14日(土)	1月15日(日)	1月17日(火)

※受付時間 9:00～16:00(平日・土曜とも、日曜・祝日は休み)

※12月23日(金・祝)は、9:00～13:00まで受付いたします。

相愛学園 Event Guide

(2017年1月～3月)

(本) = 本町学舎
(南) = 南港学舎

- 元旦礼拝
1月1日(日)11:00～
本願寺津村別院(北御堂)本堂
入場無料
- 親鸞聖人御正忌法要/
学園関係物故者追悼法要
1月16日(月) (本)講堂
本学園関係者対象
- 北御堂相愛コンサート
1月19日(木)12:25～12:45
本願寺津村別院(北御堂)本堂
入場無料
- 古楽器・アンサンブル演奏会
1月24日(火) (南)ホール 入場無料

- 高校1年生 乙女コンサート
1月28日(土) (本)講堂 入場無料
- 相愛中学校音楽科進学コース
発表会
2月4日(土) (本)講堂 入場無料
- 相愛大学音楽専攻科修了演奏会
2月5日(日)
ザ・フェニックスホール
入場料：1000円(全席自由)
- 相愛高等学校音楽科 卒業演奏会
2月18日(土) (本)講堂 入場無料
- 相愛高等学校卒業奉告参拝/帰敬式
2月20日(月)
浄土真宗本願寺派本願寺(西本願寺)
- 北御堂相愛コンサート
2月23日(木)12:25～12:45
本願寺津村別院(北御堂)本堂
入場無料

- 相愛高等学校卒業式
2月28日(火) (本)講堂
- 相愛オーケストラ
第67回定期演奏会
3月2日(木) いずみホール
入場料：2000円(座席指定)
- 相愛中学校卒業奉告参拝
3月10日(金)
本願寺津村別院(北御堂)
- 相愛中学校卒業式
3月11日(土) (本)講堂
- スプリングコンサート
3月11日(土) (本)講堂
- 相愛ウィンドオーケストラ
ポップスコンサート
3月12日(日) (南)ホール 入場無料
- 相愛大学卒業奉告参拝
3月15日(水)
本願寺津村別院(北御堂)

- 相愛大学卒業式
3月17日(金) (南)ホール
- 相愛ジュニアオーケストラ
第18回発表演奏会
3月20日(月・祝) (本)講堂
入場無料
- 相愛大学卒業演奏会
3月22日(水)
いずみホール
入場料：1000円(全席自由)
- 北御堂相愛コンサート
3月24日(金)12:25～12:45
本願寺津村別院(北御堂)本堂
入場無料
- 相愛大学オープンキャンパス
3月25日(土)
(南)キャンパス 事前申込不要
- 「マジゴはんby Osaka」
推進プロジェクト
3月27日(月) (本)講堂 入場無料